

# 大羽沢子 学位論文審査要旨

主 査 岩 田 正 明  
副主査 井 上 雅 彦  
同 前 垣 義 弘

## 主論文

Predicting mathematical learning difficulties using Fundamental Calculative Ability Test (FCAT)

(数的基礎力検査を利用した算数学習困難の予測)

(著者：大羽沢子、小枝達也、大栗聖由、岡西徹、前垣義弘)

令和4年 Yonago Acta Medica 65巻 238頁～243頁

## 参考論文

1. Dyscalculiaのスクリーニングにおける数的基礎力検査の検討

(著者：大羽沢子、小枝達也、前垣義弘)

令和元年 小児の精神と神経 59巻 199頁～206頁

## 審査結果の要旨

本研究は小学1年生と2年生の合計362名の児童を対象として、小学校1年生（平均7.1歳）の時に、基本的な計算能力を測定する新しい簡易な数的基礎力検査（FCAT：序数、基数、加算、減算より構成）を実施し、1年後の算数学習困難の予測性について検討したものである。その結果、FCATの得点はMCBT-2の得点と有意な関連を示し、感度0.77、特異度0.73、オッズ比9.1という高い精度でMLDを予測することが可能であった。本論文の内容は、FCATを用いて、算数学習困難を抱える児童の早期診断のためのツールとなる可能性を示唆するものであり明らかに学術水準を高めたものと認める。